

AiA

NEWS

www.aia.or.jp

Aichi Information Service Industry Association

一般社団法人 愛知県情報サービス産業協会

就任のご挨拶

新会長 松田 信之



新たな役割が課せられた情報サービス産業、これを担う会員の皆様に少しでも役立ちたい

DX(デジタルトランスフォーメーション)に加えてコロナ禍が情報サービス業界に大きな影響を及ぼしている時節に石井前会長の後任を務めることとなり非常に身の引き締まる思いです。

今年の定時総会は「書面による議決権行使」をお願いしたこともあり、会員の皆さまには直接ご挨拶ができなかったことから、改めて書面にて私の所信を述べさせていただきます。

生産性や品質の飛躍的向上で大きく発展した日本の情報サービス産業だが・・・

私たちの情報サービス産業は、戦後の高度経済成長期とその後の安定成長期を通じて生産性や品質を飛躍的に向上させ、重要な基幹産業に発展しました。人手が足りない高度経済成長期には現行業務を汎用大型コンピュータに置き換えて省人化を追求する一方、専門性の高いシステム開発はITベンダーにアウトソースする方式が主流になりました。ITベンダーは開発失敗のリスクを抑えコストを削減するため土木建築業界で

いられていたウォーターフォール方式を採用しパートナーに再委託してきました。こうした工程別の一方通行的な分業はソフトウェア工場としては機能しましたが、トライ&エラーには適さず迅速で柔軟なシステム構築には向かない構造が成形されました。また、IT人材も72%がITベンダーとそのパートナー企業に偏在し、ユーザ企業側には若干しかいないという日本独特の状況を作り出しました[1]。リスクの高い新規事業より既存事業の生産性を上げ利益を伸ばすことを優先した時代ではこの構造は上手く機能してきたのです。

ところがコロナ禍は、これまで見えなかった日本のイノベーションの遅れを白日の下に曝したのです。欧米や台湾などのIT先進国では特別給付金やマスク配布をITによりに迅速に実施しました。しかし日本では接触確認アプリCOCOAの致命的なバグが数カ月間にわたり放置されるなど、発注者側のIT能力欠如とアウトソーシングによる硬直的な仕組みとによる弱点が露わになったのです。経済産業省DXレポートでは、イノベーションの足かせとなる従来のウォーターフォール開発+アウトソーシングで作上げてきた情報資産を“レガシー問題”と表現しています[2]。

これからの日本の情報サービス産業の役割の変化は必至

アメリカを中心とするIT先進国ではソフトウェア開発やビジネスモデル検討の新しい方法として、アジャイルソフトウェア宣言(2001年)やリーンスタートアップ(2008年)を次々と生み出し、内製とアウトソーシングをうまく組み合わせながらイノベーションを起こし続けてきています。

一方、日本では、ようやく国や産業界がIT先進国とのギャップを直視し、それを埋めるべく国はデジタル庁設立やGIGAスクール構想を施行し、産業界もコスト削減一辺倒から新たな価値を創造するDX対応への転換を進め始めました。私たちの情報サービス産業界の役割も大きく変わろうとしていますし、変わらなければ生き残っていけないかもしれません。

今大きな潮流になりそうなのがユーザ部門による定型業

務の内製化です。2018年に経済産業大臣表彰を受賞して注目を集めた日清食品の「レガシーシステム終了プロジェクト」[3]は、数年がかりでメインフレームシステムを撤廃するとともに、システム開発の「内製化」を実現しました。これを可能にしたのがクラウド化やノーコード・ローコード開発ツールの進化です。ビジネス環境の変化スピードが超高速になっていく中、システム調達の迅速・柔軟化は最重要課題であり、同様の事例は今後ますます広がると考えられます。

日清食品に見る情報サービス企業の新しい役割とは

日清食品における「内製化」の成功要因の一つは、ローコード開発ツールを提供した情報サービス企業の振る舞い方でした。従業員わずか34名の新興SIerである同社は、『アドバイザーサービス』として、IT素人が壁に直面した際に即座に答えを提供することで、ゼロスタートからの「内製化」の水先案内人を務めたのです。ここに「内製化」時代における情報サービス企業の新しい役割のヒントがあるように思います。

成長の柱はDX支援サービス

今後大きく成長する新たな業務分野はやはりDXへの支援になると思います。なぜなら、ITのプロが乏しい日本のユーザ企業が内製化による経験を積んだとしても、DXを進めるために三つの専門性を情報サービス産業に頼らざるを得ないからです。

一つ目はDXのための技術的基盤の提供です。日清食品の事例で言えばローコード開発基盤です。その他にもSOE (System of Engagement)向けサービスのCI/CD(継続的インテグレーション/継続的デリバリー)環境、マイクロサービスやAPI群、さらには“CAMBRIC”と呼ばれる高度IT技術分野などがあげられます。

二つ目はDXの共創サービスです。DXを進めるにあたり、アイデアを持つ人とそれをITで実現していく人が一体となってMVP (Minimum Viable Product)を見つけPoC (Proof of Concept)を繰り返していく必要があります。これらITを担う人材に求められる能力はこれまでのウォーターフォール開発のものではなく、アジャイルであり、リーンスタートアップであり、さらにはクラウドやCI/CD環境にも精通したフルスタックSEの技量が必要でしょう[4]。

三つ目は、レガシーシステムのブラックボックスの解消とデータ活用です[2]。ブラックボックスを読み解くためには、これを作り上げてきた情報サービス企業に頼らざるを得ません。ただこれは、内製化の進展とともに役割が減少していく可能性があります。

人材育成への投資

内製化・技術基盤の支援にしてもDXの共創サービスにしても、今までのウォーターフォール開発にはなかった技術が必要で、その獲得のためには新たな投資が必要になります。また、お客様とのコミュニケーションもこれまでより質的に向上させる必要があります。技術者の根底となるマインドセットを、これまでの“与えられた仕様通りに物を作る”から“本当

の要求は何かを常に考える”や“仕様がビジネス価値を満たさないと判断したらすぐさまやり直す”というように、お客様とビジネス価値を共創できるものに変えていくことが最も重要かもしれません。

JISA調査に顕われる経営者の課題・危機意識・・・解決策はビジョンの設定を含む経営革新

JISA会員へのDXアンケート調査[5]では、情報サービス産業に携わる経営者のDX・コロナ禍への課題・危機意識が強く表れています。

アンケート結果からは経営者の様々な不安が見取れますが、課題の解決策として圧倒的(34%)だったのはビジョンの設定です。経営者の意思決定すべきことでの自由記述には「若手社員アンケートでも会社の長期ビジョンの明確化を望む声が多く、ビジョンがあってこそ自らのキャリア形成、そのための動機付けも図れるとの意見が増えている」との意見がありました。ミレニアル世代(1981~96年生まれ)とそれに続くZ世代(1997年~生まれ)が社会に占める割合が増えるにつれ、彼らの特性といわれる「物質的豊かさより精神的豊かさ」や「より社会貢献性の高い仕事を求める」という価値観を私たち経営者は意識せざるを得ないと思います。

また、現行の評価・報酬制度がマネジメント職偏重であるため、専門職としてのエンジニアの業績に対するインセンティブ機能が弱いことなども挙げられています。本レポートではこうした会社の背骨となるビジョンや人事制度、人材育成投資も含め、DXには経営全体の変革が必要であると結んでいます。

DXに向け会員の皆様に少しでもお役立ちできるよう

当協会の皆さんも、この大変革期での舵取りに様々な不安や課題を抱いていらっしゃると思料いたします。DXへの取り組みへの情報収集や課題解決にあたり、「三本の矢の教え」のとおり協会全体で立ち向かっていくことができれば心強いことでしょう。そのために少しでも皆さまのお役に立てるよう、悩みながら活動をしてまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。

(2021年6月15日)

【参考文献】

- [1]総務省 平成30年版 情報通信白書(第1章 我が国のICTの現状)
- [2]経済産業省 DXのレポート~ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開
- [3]ITmediaエンタープライズ2020.12「DX銘柄」日清食品HDの情シスを支えるローコード開発ツールの秘密
- [4]JISA Quarterly 2021 Spring 歴史的経緯から見たローコード/ノーコードとデジタルトランスフォーメーション時代の情報サービス企業の役割
- [5]JISA「令和2年度情報サービス産業DX推進に関する経営者意識調査」

退任のご挨拶

前会長 石井 敏仁



2000年に理事、その後2008年に副会長、2019年から2年間会長を拝命しました。その間、ひとえに会員の皆様方の温かいご支援とご協力の賜物により、なんとか運営することができました。本当に感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、協会の活動には制限がつく自粛の年でもありました。

一方、社会では「自席に縛られないテレワークやリモートでの作業」や「対面の制約を外すオンライン会議」を可能とする環境が劇的に整備されました。また、ユーザー企業においては、将来の成長や競争力維持・強化に向けて「DX(デジタルトランスフォーメーション)を一層スピーディーに進めなければならない」といった認識が浸透した時期でもあります。

世の中が大きく変わろうとしているこの時機に、当協会の在り方も必然的に変わらなければなりません。「Teamsによるオンライン会議の推進(移動や集合制限への対応)」、「DX時代における委員会活動の見直し」等を、まさに計画・実施しているところです。

AiA会員企業各社においても、変化の激しい事業環境の中で、将来を見据えた経営資源の選択と集中を一層推し進めることが重要となってまいりました。AiAは、業界の情報収集・意見交換の貴重な場として、いっそう有効にその役割を果たしていくと信じております。

今後も会員の皆様とともに、AiAが新体制の下で益々飛躍されていかれることを、心から祈念申し上げます。

ありがとうございました。

TOPICS | 2021年度定時総会を開催

詳細は⇒www.aia.or.jp/event/soukai_2021.html

6月15日(火)、AiA会議室において、2021年度定時総会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会員には書面による議決権行使をお願いし、会場には役員及び関係者のみが出席する形で行われました。

これにより、書面で表決する者185名を含む出席会員数198名で、次の5議案が審議・可決承認されました。

- 第1号議案：2020年度事業報告(案)承認の件
- 第2号議案：2020年度決算報告(案)承認の件
- 第3号議案：理事選任の件
- 第4号議案：監事選任の件
- 第5号議案：2021年度会費減額の件

報告事項として、次の2項目の説明も行われました。

- ・2020年度公益目的支出計画・実施状況報告の件
- ・2021年度事業計画及び収支予算に関する件

臨時理事会にて、新会長 松田信之氏を選任

総会終了後、新理事による臨時理事会がTeamsも利用して行われ、新会長をはじめとする10名の役付理事を選任しました。新会長には松田信之氏(株)中電シーティーアイ)が選ばれました。(新役員の名簿は次ページに掲載しています)

●2020年度収支計算書(単位:円)

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

入会金収入	500,000
会費収入	41,235,000
事業収入	4,289,06
補助金収入	0
雑収入	700,509
事業活動収入計	42,864,415

2. 事業活動支出

事業費支出	3,206,387
管理費支出	29,615,923
事業活動支出計	32,822,310
事業活動収支差額	10,042,105

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

投資活動収入	0
投資活動支出	1,803,629
投資活動収支差額	△ 1,803,629

III 財務活動収支の部

1. 財務活動収入

財務活動収入	0
財務活動支出	0
財務活動収支差額	0

当期収支差額	8,238,476
前期繰越収支差額	32,750,288
次期繰越収支差額	40,988,764



◀ Teams 画面の様子



総会の様子

議長席が石井会長(総会を最後に退任)、右が富板副会長、左が松田副会長(次期会長)



理事会の様子

左から議長(松田新会長)、富板副会長、高瀬監事

TOPICS

「特別講演」「懇親パーティー」中止について

定時総会当日に行われる予定だった「特別講演」「懇親パーティー」は、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して、今年度も中止といたしました。

第28回優良従業員表彰

会員企業から推薦された各社のホープを表彰する「優良従業員表彰」は、今年は3社7名の社員の方々に決定しました。例年、表彰式は定時総会後に行われ、AiA会長よりお一人ずつに表彰状と記念品をお渡ししておりましたが、今年も新型コロナウイルスの影響により、推薦企業各社内で行っていただきました。今回表彰されたのは次の方々です。

NTPシステム(株) 小田 亜美さん、寺西 勇樹さん
 (株)テクニカルアンサー 片岡 寛貴さん、寺田 優太さん
 平本 篤さん、中林 輝年さん
 東海ソフト(株) 渡邊 徹さん



NTPシステムのホープのお二人



東海ソフトのホープの渡邊さん



テクニカルアンサーのホープの皆さん

新役員 名簿

(会社名は2021年4月1日現在)

会 長	松田 信之 (株)中電シーティーアイ (技術委員長)	重任	理事	伊藤 秀和 東海ソフト(株)	重任
副 会 長	北沢 宏明 (株)トヨタシステムズ	重任		伊豫田 至 (株)ナイス	新任
	富板 恒匡 デジタルミックス(株)	重任		北村 沙枝子 (株)GDIコミュニケーションズ	新任
専務理事	宮田 利昭 (一社)愛知県情報サービス産業協会 (事務局長)	重任		久野 尚博 (株)マイクロリンク	重任
常務理事	青井 基行 (株)ユニオンソフトウェアマネジメント (人材育成委員長)	重任		近藤 慈伸 (株)シーエスイー	新任
	石黒 佳彦 (株)ソフトテックス (採用支援委員長)	重任		末松 俊也 (株)第一コンピュータリソース	新任
	井上 崇 (有)ヤングライフプロポーサル (福利厚生委員長)	重任		鈴木 司 トーテックアメニティ(株)	新任
	坂梨 幸典 (株)ITAGE (広報委員長)	重任		西塚 麻紀子 シーアンドエス(株)	新任
	沢木 誠 (株)メイテツコム (総務委員長)	重任		原田 淳一 (株)CMC Solutions	重任
	高野 弘道 (株)メイケイ (企画事業委員長)	新任		平山 宏 (株)システムリサーチ	重任
				深見 和久 (株)ITCS	新任
				前田 之恵 (株)シーズウェブ	新任
				山本 芳裕 ジェイアール東海情報システム(株)	新任
			監事	大林 則久 モアシステム(株)	重任
				高瀬 斉治 (株)トータルオフィスプロセッサー	重任

EVENT

PMコンテスト2020開催 (本大会2021年9月25日(土))

詳細は⇒www.aia.or.jp/pm_contest.html

若手技術者の技術力向上を目的とした本コンテストも、初回から数えて13年目の集大成として、最後の開催となります。参加は6社7チーム。熱戦が期待されます。

新型コロナウイルス感染対策も、本大会に先立つ準備の段階から徹底しています。

例年集合で行う、PM実践力セミナーは6月19日(土)にオンライン開催となりました。

講師はPMコンテストの審査員でもある大橋知子先生、テーマは「デジタル時代のプロジェクト計画と実践～アジャイルプロジェクト・PMBOKのイトコドリ～」。

参加者は、実践に役立つ多くの気づきを得たようでした。受講者は、コンテスト参加チーム以外も含め8社29名。

技術委員会では、2022年度からは新コンテンツを検討中とのこと。これも楽しみです。



理事会

2021年度 第1回理事会が行われました

決議の日：2021年5月12日(水)

開催場所：AiA会議室およびWeb会議システム利用

議題：1. 審議事項

- (1)2020年度事業報告(案)について
- (2)2020年度決算報告(案)について
- (3)理事候補者推薦(案)について
- (4)監事候補者推薦(案)について
- (5)2021年度年会費減額について
- (6)公益目的支出計画の実施状況について
- (7)定時総会の招集について
- (8)臨時理事会の招集手続きを省略することについて
- (9)優良従業員表彰者の選考について

2. 報告事項

- (1)委員会活動状況
- (2)他団体事業の後援

TOPICS

新役員に聞く

今回の総会で選任した理事23名の内、10名が新任です。特筆すべきはAiA初となる女性理事3名。今回、新任理事の代表として、西塚麻紀子氏(シーアンドエス(株)取締役 管理本部長・AiA事業承継分科会メンバー)にお話をお伺いしました。

【理事としての抱負】

DX(デジタルトランスフォーメーション)推進の大きな流れの中で、情報サービス産業の責任と期待は膨らみ、その責任は益々重くなっております。そんな中で業界団体の理事に就任させていただいたことは、とても光栄で幸せです。貴重な機会を与えてくださった皆様に感謝いたします。

従来から実績のあるイベントの継続的開催に加え、DXによるビジネス変革に求められるAiAの活動に貢献できたらと考えております。

DX推進による顧客の価値創造をAiA会員の皆様とともに実現することを念頭に置いて取組んで参ります。

【趣味とモットー】

ゴルフが気分転換の特効薬です。過日、雨降りですスタートしたゴルフでしたが、途中から太陽が顔を出しラッキーサインの虹を見ました。新型コロナウイルスによって引き起こされた苦難も、創意工夫によって乗り越えた後に光がさします。

今生じている大きな環境・行動変化に対して、「感謝を忘れず、いつも明るく元気に」をモットーに立ち向かってまいります。

モットーどおりの明るくバイタリティ溢れる方でした。新たな観点からAiA活動を展開していただけることが期待されます。



委員会ニュース

● 福利厚生委員会

野球大会

8月7日(土)～11月20日(土)開催予定。(出場17チーム)

詳細は⇒www.aia.or.jp/event/bb29_top.html

● 採用支援委員会

大学/専門学校・企業就職担当懇談会開催予定。

(11月10日(水) 専門学校、11月22日(月) 大学)

SEMINAR

A i A セミナー(集合研修)のご案内

☆至近(10月～11月)に開催予定の主なセミナーを紹介します。

ヒューマンスキル

IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理と直感」で「伝わる」意思伝達の方法～

開催日:10月7日(木)～8日(金)(2日間)
会場:名古屋市中区大須
詳細は⇒http://www.aia.or.jp/event_seminar/detail.php?id=922

問題解決

1日で学ぶ! ITソリューション提案の実践

開催日:10月20日(水)
会場:名古屋市中区錦
詳細は⇒http://www.aia.or.jp/event_seminar/detail.php?id=926

マネジメントスキル

心理学を応用したメンタル・マネジメント ～ITエンジニアのメンタルタフネス～

開催日:11月4日(木)
会場:名古屋市中区大須
詳細は⇒http://www.aia.or.jp/event_seminar/detail.php?id=928

問題解決

IT技術者のためのネゴシエーション ～社外・社内交渉をWin-Winにするために～

開催日:11月11日(木)～12日(金)(2日間)
会場:名古屋市中区大須
詳細は⇒http://www.aia.or.jp/event_seminar/detail.php?id=929

マネジメントスキル

リーダーのためのアンガーマネジメント ～怒りに振り回されない職場づくり～

開催日:11月16日(火)
会場:名古屋市中区錦
詳細は⇒http://www.aia.or.jp/event_seminar/detail.php?id=932

ヒューマンスキル

1日で学ぶ! チームリーダー・OJT担当者の為の人への教え方と伝え方

開催日:11月17日(水)
会場:名古屋市中区錦
詳細は⇒http://www.aia.or.jp/event_seminar/detail.php?id=933

問題解決

IT技術者のための効果的な会議の進め方 ～ファシリテーションスキルの活用～

開催日:11月24日(水)
会場:名古屋市中村区名駅
詳細は⇒http://www.aia.or.jp/event_seminar/detail.php?id=934

実務

これから始めるAI入門講座 ～Sony NNCを用いたニューラルネットワーク開発～

開催日:11月25日(木)～26日(金)(2日間)
会場:名古屋市中村区椿町
詳細は⇒http://www.aia.or.jp/event_seminar/detail.php?id=935

会員往来

[正会員]

株式会社 アイシーソフト … 住所変更
新住所:〒460-0003 名古屋市中区錦2-2-2
名古屋丸紅ビル9F
TEL: 052-973-1781(変更ナシ) 新FAX:052-231-7311

株式会社 岡崎情報開発センター … 住所変更
新住所:〒444-0822 岡崎市若松東3丁目9番地1

キムラユニティー 株式会社 … 代表者変更
新代表者:代表取締役社長 成瀬 茂広

勤次郎 株式会社 名古屋本部 … 社名変更
旧社名:日通システム 株式会社 名古屋本部

株式会社 クオーマ … 住所変更
新住所:〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-9
太陽生命名古屋第二ビル8階
新TEL:052-211-8622 新FAX:052-211-8633

鈴与シンワート 株式会社 名古屋システムセンター … 代表者変更
新代表者:センター長 井上 秀治

株式会社 ソフトバリー … 代表者変更
新代表者:代表取締役 河原 真勝

TISソリューションリンク 株式会社 名古屋事業所 … 代表者変更
新代表者:執行役員 中部・東海ビジネス事業部長 南沢 義美

株式会社 日本システムプランナー … 代表者変更
新代表者:代表取締役 古瀬 伸一

萩原電気ホールディングス 株式会社 … 代表者変更
新代表者:代表取締役社長 木村 守孝

AiA NEWSはホームページにも掲載しています
記事の中にはWebとリンクしているものもあります

www.aia.or.jp

発行日 2021年7月31日
発行人 一般社団法人 愛知県情報サービス産業協会 広報委員会(季刊・年4回)
住所 〒460-0008 名古屋市中区栄2-4-1(広小路栄ビルディング3F)
TEL 052-219-0546 FAX 052-219-0547 E-mail info@aia.or.jp